

新入生の皆さんへ

新入生の皆さん、埼玉大学に入学おめでとうございます。

本来なら、平成23(2011)年度埼玉大学入学式を挙行するところですが、このたび日本を襲った東日本大震災並びに現下の諸事情に鑑み、式典を中止することにしました。皆さんの大学生活の出発を祝う入学式を中止することは、埼玉大学としても残念ではありますが、なにとぞご理解いただくようお願いいたします。

いま、日本は、地震と津波に加えて原子力発電所の事故が重なるという、世界でも類のない非常事態に直面しています。未曾有の地震と津波の犠牲となられた方々には、お悔やみの言葉さえはばかれる思いですし、原発事故については、安全に収束することを待つしかないもどかしさがあります。

今回の大惨事の状況は、科学の限界や人間の力のはかなさを否応なしに感じさせます。広島・長崎・ビキニ環礁での被爆を体験し、世界に対して、二度とこのようなことを起こさせないことを宣言したこの国、日本で、日本人の手で作った原子力発電所の事故により放射能汚染の恐怖に曝される日が続いているということは、何とも悔しく、悲しいことであります。

しかし、発生した大きな問題の解決は、やはり、科学の力と合理的な思考によってなされなければなりません。今後相当長期間を要するであろう復興も、またしかりです。加えて、今こそ、自分一人だけの利益、自分一人だけの幸福のために活動するということではなく、みんなが悲しみを分かち合い、幸福を分かち合う、そういう人間的な関係性を発揮しなければなりません。そういう営みを通して、安全で、安心して暮らせる日本社会が実現できると言えるのです。

新入生の皆さん。皆さんは、こういう状況の中で大学に入学してきた意味を心に刻み、埼玉大学でしっかりとした力を身につけて下さい。計画停電の影響で不便をかけることがあるかもしれませんが、その時は、避難所という環境の中で勉強する少年、少女たちの姿を思い浮かべて下さい。被災した人には、埼玉大学は可能な限りの支援をしますので、どうぞ相談に来て下さい。

皆さんが、困難な中でも充実した学生生活を送り、4年後には夢と希望と誇りを持って社会に巣立っていくことを、埼玉大学は期待しています。

平成23年4月

埼玉大学長 上井喜彦